

白 浜



ボランティア白浜海水浴

展示場を町総合運動場テニスコートにオープンさせる。町生活支援課によると、災害公営住宅でモデルルーム展示場を造るの

る。町生活支援課によると、災害公営住宅でモデルルーム展示場を造るの

微細藻類培養施設が開所

石巻・十八成浜 サプリ用粉末製造



施設内を見学する開所式の出席者＝石巻市十八成浜清崎山

微細藻類の製造・販売を手掛ける石巻市のベンチャー企業「スメーブシヤパン」（原芳道社長）が同市十八成浜清崎山に建設した藻類培養施設「清崎モテルフーム」が操業を開始した。8815平方メートルの市有地を借り、藻類「ナンククロロプシス」を培養するコンクリート製の屋外水槽7基や、加工場と事務所など（延べ床面積260平方メートル）を整備した。従業員は11人で、地元から8人を雇用了。

2日に現地であった開所式には関係者ら約50人が出席し、テープカットや記念植樹をして開所を祝った。原社長は「地元雇用の機会をつくり、若者に事業の可能性を伝えるだけでなく、近隣子どもたちを招き海を大切にしよと呼び掛ける施設にもしたい。地域と一緒に事業展開していく」とあいさつした。

ベンチャー企業

亀山絏市長は「地域で働く場所を確保しないと人口流出は進むので、牡鹿で企業を育てたいと考えていた。被災地石巻から新産業を育てていきたい」と述べた。

血液をさらさらにする成分「エイコサペンタエン酸（EPA）」を豊富に含んでおり、施設ではサプリメントなど健康補助食品向けの粉末にして出荷する。

海水が循環する屋外水槽で、種藻の光合成を促し培養。加工場に移し遠心分離器にかけて濃縮し、殺菌処理後、熱風乾燥させる。10リットルの海水から約10キログラムの粉末ができ、年間16キログラムの生産を見込んでいる。

石巻・小淵浜で震度5強 人的被害なくほった

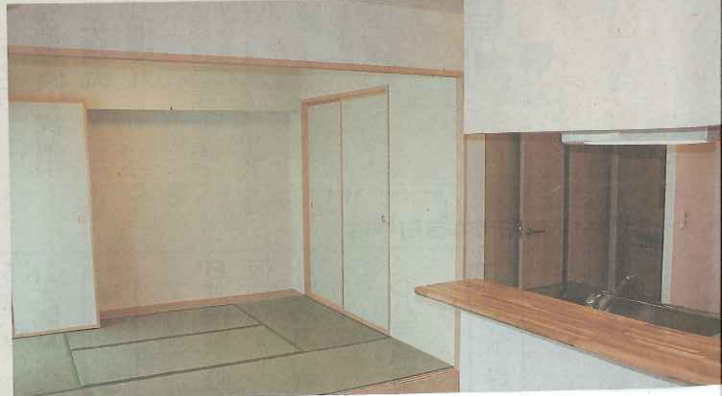
4日午後0時28分ごろ、宮城県沖を震源とするマグニチュード6.0の地震があった。石巻市の小淵浜では震度5強、女川町では5弱、東松島市では4を観測した。2市1町とも人的、建物被害はなかった。

最大震度5強を観測した石巻市は、地震発生直後に災害対策本部を設置。市職員が防災行政無線やエリアメールで市民らに注意を呼び掛け、被害状況などの情報収集や警戒に当たった。

女川町は特別警戒配備、東松島市は警戒配備の態勢を敷き、情報収集に当たった。

川原茂に異常は主な交通機 川原茂に異常は 川原茂に異常は 川原茂に異常は 川原茂に異常は 川原茂に異常は

R仙石線の陸 巻、石巻線の 宿は運転を見 弱後に再開し 石巻地方の 次の通り。



モデルルームは、本年度中に入居可能な町民陸上競技場跡地地区の集合住宅（4人用）の3DKタイプ（延べ床面積65平方メートル）。

対面キッチンがある台所・食事室（10畳）や和室（6畳）、洋室（5畳）2部屋のほか、風呂や洋式トイレもある。居住イメージを深めるため、冷蔵庫や洗濯機を置く。

奥行きがあるバルコニー（奥行き1.8メートル、長さ7.2メートル）や共用廊下